



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 東洋炭素株式会社

コード番号 5310 URL <https://www.toyotanso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 近藤 尚孝

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 久野 正樹 TEL 06-6472-5811

四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	36,001	12.4	6,690	34.7	7,700	29.8	5,810	39.9
2022年12月期第3四半期	32,028	16.7	4,965	19.7	5,932	28.3	4,152	31.1

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 7,638百万円 (15.3%) 2022年12月期第3四半期 6,626百万円 (43.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	277.05	-
2022年12月期第3四半期	198.02	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	95,330	83,367	87.4
2022年12月期	89,432	77,200	86.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 83,313百万円 2022年12月期 77,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	0.00	-	70.00	70.00
2023年12月期	-	0.00	-	-	-
2023年12月期（予想）	-	-	-	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	10.8	8,500	27.5	9,300	26.2	7,000	35.1	333.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は【添付資料】8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	20,992,588株	2022年12月期	20,992,588株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	20,128株	2022年12月期	20,078株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	20,972,480株	2022年12月期3Q	20,972,534株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	11
(1) 品目別の受注及び販売状況	11
(2) 概況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、世界景気は一部の地域において弱さが見られるものの、持ち直しの動きが見られました。しかしながら、資源価格が高止まりしているほか、金融引き締めにより欧米の景気減速が懸念される等、先行き不透明な状況が継続しました。

当企業グループを取り巻く事業環境は、エレクトロニクス分野では、上期好調だったシリコン半導体用途の需要が、半導体産業の調整を受け第3四半期に入り減速の兆しが見え始めてきました。一方、SiC半導体用途では高い需要が継続しました。また、モビリティ分野においては、自動車産業の稼働回復を背景に、一般産業分野においては、企業における底堅い設備投資等を背景に、それぞれ堅調に推移しました。

このような状況の中、当企業グループでは、中期経営計画における経営目標の達成に向け、外部環境の変化を機敏に捉えた事業展開を推進するとともに、生産性向上によるコスト競争力の向上、技術革新に追随しうる新製品および高付加価値製品の開発・増強に着手する等、顧客ニーズに真摯に向き合いながら、事業機会を着実に取り込むべく事業を推進してまいりました。加えて、原燃料価格高騰の影響を軽減するべく採算性の確保・維持に向けた取り組みを進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、カーボンブラシ製品の需要が減少したものの、円安の影響に加え、半導体や冶金用途における堅調な需要に支えられ、売上高は36,001百万円（前年同期比12.4%増）となりました。利益については、価格転嫁および販売構成差等の影響で限界利益が増加したことにより、営業利益6,690百万円（同34.7%増）、経常利益7,700百万円（同29.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,810百万円（同39.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。（品目別の概況は「3. 補足情報」をご参照ください。）

日本

半導体用は強い需要に支えられ前年同期を大きく上回り、機械用カーボン分野や工業炉用・連続鋳造用等の冶金用が堅調に推移したこと等により、売上高は18,571百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益は5,992百万円（同26.4%増）となりました。

米国

半導体用が好調に推移したほか、工業炉用を中心とした冶金用や放電加工電極が堅調に推移したこと等により、売上高は3,100百万円（同24.6%増）、営業利益は114百万円（同19.8%増）となりました。

欧州

カーボンブラシ製品の売上は前年同期を下回ったものの、主力の冶金用が好調に推移したことに加え、半導体用が大幅に伸ばしたこと等により、売上高は3,678百万円（同30.7%増）、営業利益は136百万円（同22.1%増）となりました。

アジア

カーボンブラシ製品は顧客の生産調整の影響等により大幅に減少したものの、冶金用は前年同期を大きく上回り、半導体用の需要は底堅く推移しました。これらの結果、売上高は10,650百万円（同3.6%増）となり、営業利益はカーボンブラシ製品の販売減少による限界利益の減少や一部地域の需要減の影響等により559百万円（同33.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,897百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が398百万円減少したものの、棚卸資産が3,022百万円増加、有形固定資産が1,987百万円増加および投資その他の資産が691百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ268百万円減少いたしました。これは主に未払金が341百万円増加および賞与引当金が638百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が161百万円減少、電子記録債務が114百万円減少、短期借入金が285百万円減少、未払法人税等が604百万円減少および役員賞与引当金が113百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6,166百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が4,342百万円増加および為替換算調整勘定が1,652百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年8月9日発表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,437	15,498
受取手形及び売掛金	16,606	16,207
有価証券	2,999	2,999
商品及び製品	8,121	9,774
仕掛品	7,127	7,878
原材料及び貯蔵品	3,167	3,785
その他	502	865
貸倒引当金	△101	△51
流動資産合計	53,861	56,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,022	10,864
機械装置及び運搬具(純額)	9,993	10,996
土地	5,931	6,109
リース資産(純額)	1,167	1,201
建設仮勘定	1,773	2,775
その他(純額)	1,248	1,178
有形固定資産合計	31,138	33,125
無形固定資産	289	410
投資その他の資産	4,143	4,834
固定資産合計	35,571	38,371
資産合計	89,432	95,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,328	2,167
電子記録債務	1,004	890
短期借入金	285	0
未払金	1,890	2,232
未払法人税等	1,734	1,129
賞与引当金	772	1,410
役員賞与引当金	113	—
その他	3,018	3,101
流動負債合計	11,147	10,931
固定負債		
退職給付に係る負債	147	169
資産除去債務	272	277
その他	664	584
固定負債合計	1,084	1,031
負債合計	12,231	11,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,947	7,947
資本剰余金	9,609	9,609
利益剰余金	55,672	60,014
自己株式	△60	△60
株主資本合計	73,168	77,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117	225
為替換算調整勘定	3,944	5,597
退職給付に係る調整累計額	△83	△20
その他の包括利益累計額合計	3,978	5,802
非支配株主持分	53	53
純資産合計	77,200	83,367
負債純資産合計	89,432	95,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	32,028	36,001
売上原価	21,604	23,261
売上総利益	10,423	12,739
販売費及び一般管理費	5,458	6,049
営業利益	4,965	6,690
営業外収益		
受取利息	68	66
受取配当金	60	62
為替差益	681	676
持分法による投資利益	86	156
その他	125	87
営業外収益合計	1,022	1,048
営業外費用		
支払利息	27	18
減価償却費	12	12
受託研究費用	9	—
その他	6	7
営業外費用合計	56	38
経常利益	5,932	7,700
特別利益		
固定資産売却益	5	81
投資有価証券売却益	1	—
補助金収入	21	377
特別利益合計	28	458
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	87	176
操業停止による損失	※ 86	—
特別損失合計	175	176
税金等調整前四半期純利益	5,784	7,983
法人税等	1,628	2,172
四半期純利益	4,156	5,810
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,152	5,810

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,156	5,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	108
為替換算調整勘定	2,385	1,569
退職給付に係る調整額	24	62
持分法適用会社に対する持分相当額	121	87
その他の包括利益合計	2,470	1,827
四半期包括利益	6,626	7,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,617	7,634
非支配株主に係る四半期包括利益	8	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 操業停止による損失

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

上海東洋炭素有限公司および上海東洋炭素工業有限公司において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした現地政府等の要請に基づき、一部の生産拠点の操業を停止した期間の人件費および減価償却費を特別損失に計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
一時点で移転される財	16,450	2,487	2,813	10,276	32,028	—	32,028
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	16,450	2,487	2,813	10,276	32,028	—	32,028
外部顧客への売上高	16,450	2,487	2,813	10,276	32,028	—	32,028
セグメント間の内部売 上高又は振替高	5,956	28	—	104	6,090	△6,090	—
計	22,406	2,516	2,813	10,381	38,118	△6,090	32,028
セグメント利益	4,739	95	111	836	5,782	△816	4,965

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	13,234	2,645	2,917	13,056	9,627	173	32,028
割合(%)	41.3	8.3	9.1	40.8	30.1	0.5	100.0

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米………米国

(2) 欧州………フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア………中国、台湾、韓国

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
一時点で移転される財	18,571	3,100	3,678	10,650	36,001	—	36,001
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	18,571	3,100	3,678	10,650	36,001	—	36,001
外部顧客への売上高	18,571	3,100	3,678	10,650	36,001	—	36,001
セグメント間の内部売 上高又は振替高	6,845	56	—	147	7,049	△7,049	—
計	25,416	3,157	3,678	10,797	43,050	△7,049	36,001
セグメント利益	5,992	114	136	559	6,802	△111	6,690

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	15,652	3,213	3,976	13,013	9,909	145	36,001
割合(%)	43.5	8.9	11.0	36.2	27.5	0.4	100.0

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米………米国

(2) 欧州………フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア………中国、台湾、韓国

3. 補足情報

(1) 品目別の受注及び販売状況

①受注金額

(単位：百万円)

品目	2022年12月期						2023年12月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q累計	4 Q	年度合計	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q累計
特殊黒鉛製品	4,638	5,286	5,098	15,023	5,593	20,617	5,738	6,244	5,091	17,075
一般カーボン製品※2 (機械用カーボン分野)	951	1,044	1,016	3,011	1,022	4,034	1,064	965	997	3,028
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	1,083	1,175	1,011	3,270	1,002	4,273	958	1,206	1,112	3,278
複合材その他製品	3,034	3,092	3,852	9,979	3,752	13,732	3,393	3,848	3,834	11,076
合計	9,708	10,599	10,978	31,285	11,371	42,657	11,155	12,266	11,036	34,458

(注) 1. 前四半期以前に外貨建てで受注したもので、当四半期中の為替相場の変動による差異については、当四半期受注金額に含めております。

※2. 一般カーボン製品（機械用カーボン分野）には内示による受注を含めております。

②受注残高

(単位：百万円)

品目	2022年12月期				2023年12月期		
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q
特殊黒鉛製品	5,249	6,215	6,438	6,728	7,197	7,887	7,401
一般カーボン製品※2 (機械用カーボン分野)	830	979	1,012	964	1,053	1,025	1,016
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	993	1,108	848	802	777	838	775
複合材その他製品	4,854	5,255	5,940	5,995	6,949	7,260	7,908
合計	11,927	13,559	14,239	14,490	15,978	17,011	17,102

(注) 1. 前四半期以前に外貨建てで受注したもので、当四半期中の為替相場の変動による差異については、当四半期受注残高に含めております。

※2. 一般カーボン製品（機械用カーボン分野）には内示による受注を含めております。

③品目別販売実績

(単位：百万円)

品目	2022年12月期						2023年12月期			
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	年度合計	1Q	2Q	3Q	3Q累計
特殊黒鉛製品	4,340	4,801	5,309	14,452	5,778	20,230	5,648	6,048	6,133	17,830
【エレクトロニクス分野】	1,612	1,878	2,114	5,605	2,498	8,104	2,429	2,510	2,693	7,633
【一般産業分野】	2,187	2,284	2,575	7,048	2,550	9,598	2,588	2,797	2,816	8,202
【その他】	540	638	618	1,798	729	2,527	630	740	623	1,994
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	926	933	1,012	2,872	1,113	3,985	993	1,023	1,036	3,054
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	1,371	1,092	1,283	3,747	1,075	4,823	957	1,145	1,169	3,272
複合材その他製品	2,656	2,770	3,228	8,654	3,110	11,765	3,137	3,608	3,263	10,008
【主要3製品】	2,241	2,328	2,742	7,312	2,632	9,944	2,702	3,100	2,793	8,595
【その他製品】	414	441	485	1,342	478	1,820	435	507	469	1,412
商品	611	789	901	2,301	667	2,969	567	581	685	1,835
合計	9,906	10,386	11,735	32,028	11,746	43,774	11,304	12,407	12,288	36,001

(2) 概況

特殊黒鉛製品

エレクトロニクス分野は、単結晶シリコン製造用やSiC半導体向けの化合物半導体製造用が大きく伸長したこと等により、前年同期比36.2%増となりました。

一般産業分野は、連続鋳造用や工業炉用等の冶金用が大幅に増加したほか、放電加工電極が堅調に推移したこと等により、前年同期比16.4%増となりました。

これらの結果、特殊黒鉛製品全体としては、前年同期比23.4%増となりました。

一般カーボン製品

機械用カーボン分野は、主力の軸受・シールリング等が堅調に推移したこと等により、前年同期比6.3%増となりました。

電気用カーボン分野は、顧客の生産調整等により小型モーター用の需要が大幅に減少したこと等により、前年同期比12.7%減となりました。

これらの結果、一般カーボン製品全体としては、前年同期比4.4%減となりました。

複合材その他製品

SiC(炭化ケイ素)コーティング黒鉛製品は、シリコンおよびSiC半導体向けが増加したこと等により、前年同期を大きく上回りました。C/Cコンポジット製品は、工業炉用および半導体用の需要が増加したこと等により、前年同期を上回りました。また、黒鉛シート製品は、主力の自動車用、半導体用および冶金用がいずれも底堅く推移したこと等により、前年同期並みの水準となりました。

これらの結果、主要3製品は前年同期比17.5%増となり、複合材その他製品全体としては、前年同期比15.6%増となりました。